



2023年11月30日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

News Release

大掃除は「整理・整頓・セーフティ」！

～「シュレッダー」「掃除機」「脚立・はしご」の気を付けるポイント～

1. 事故の発生状況

2018年度から2022年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{*1}のうち、シュレッダー、掃除機、脚立・はしごの事故は、北海道で合計10件ありました。このうち、シュレッダーと掃除機は全て火災を伴う事故が発生しています。

(1) 年度別事故発生件数

製品ごとの年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2018～2022年度）

発生年度	シュレッダー	掃除機	脚立・はしご	合計
2018年度	1	3	0	4
2019年度	0	0	2	2
2020年度	0	0	0	0
2021年度	0	2	1	3
2022年度	0	1	0	1
合計	1	6	3	10

(2) 被害状況別事故発生件数

製品ごとの被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 被害状況別事故発生件数（2018～2022年度）^{*2}

被害状況		シュレッダー	掃除機	脚立・はしご	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	1	1
	軽傷	0	0	2	2
物的被害	拡大被害	1	4	0	5
	製品破損	0	2	0	2
被害なし・不明		0	0	0	0
合計		1	6	3	10

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。
- (※2) 物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。また、人的被害（死亡・重傷・軽傷）が複数同時に起きている場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) シュレッダー

○2018年7月（北海道、40歳代・男性、使用期間約2年、拡大被害）

事故内容：店舗でシュレッダーを使用中、シュレッダー及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因：可燃性ガス等にシュレッダーのモーターから出た火花が引火し、細断中の紙を焼損したものと考えられるが、事故発生時の詳細な使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかった。

(2) 掃除機

○2022年7月（北海道、40歳代・男性、使用期間約3か月、拡大被害）

事故内容：ネット通販で購入した掃除機用バッテリーパックを充電中、バッテリーパックから異音がして出火し、周辺を焼損した。

事故原因：非純正品のバッテリーパックの電池セルが異常発熱して焼損したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、原因の特定はできなかった。

(3) はしご兼用脚立

○2021年1月（北海道、50歳以上・男性、使用期間約1回、軽傷）

事故内容：はしご兼用脚立をはしご状態で使用中、支柱が折れて転倒し、軽傷を負った。

事故原因：はしご兼用脚立の肉厚、硬さ等に異常は認められないことから、被害者が雪の積もったコンクリート上に、はしご状態で設置し、補助者の支えがない状態で昇ったため、はしご兼用脚立の設置部が後方に滑り、バランスを崩して転落した身体がはしご兼用脚立に当たり、衝撃で支柱が変形・折損したものと推定される。

なお、取扱説明書及び本体表示には、「はしごが動き転倒や転落の恐れがあるため、はしごで使うときは必ず大人の補助者が支える。」「はしごが滑り転落や転倒の恐れがあるため、濡れている場所、積雪や凍結している場所に設置しない。」旨、記載されている。

3. 気を付けるポイント

(1) シュレッダーの気を付けるポイント

- 可燃性ガスを含むスプレーを使用しない、電池類を細断しない。
- 投入口に指を近づけない。
- インターロック装置が働くことを確認する。

(2) 掃除機の気を付けるポイント

- 非純正バッテリーが抱えるリスクを理解する（充電式タイプの掃除機）。
- 充電は製品指定の充電器を使う（充電式タイプの掃除機）。
- 電源コードに過度な力が加わらないよう注意する。

(3) 脚立・はしごの気を付けるポイント

- 脚立は「天板をまたがない」「大きな反動が生じる作業をしない」。
- はしごは「補助者に支えてもらう」「はしごに乗って作業しない」。
- 開き止め具をしっかりロックし、安定した地面に設置する。
- 亀裂やねじの緩み等がないか確認する。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:長谷川、佐藤

電話:011-709-2324